

事例 8 小学校 6 年生に中学校生活の魅力を伝えることを通して「話すこと [やり取り]」の資質・能力の育成をねらった事例

○学年 第 1 学年

○主な領域 「話すこと [やり取り]」

○事例のポイント

- ①「中学生が、小学校 6 年生に対して中学校生活の魅力を伝える」ことを通して、学校種間で児童生徒同士の交流機会を設ける。
- ②「中学生が小学校 6 年生に対して中学校生活の魅力を伝える」ことを通して、小学校における外国語活動・外国語科で学んだ既習事項を振り返る。

I C T を活用した主な学習場面

- ①小学校 6 年生に中学校生活の魅力を伝えるための動画撮影
- ②評価のためのやり取りのパフォーマンスの撮影

I C T 活用の利点

- ① 小中連携を行うに当たり、中学生が「小学校 6 年生に中学校生活の魅力を伝えるための動画」を作成して小学生と共有することで、小中学生同士が I C T を活用した交流を図ることができる。
- ② 単元末に「話すこと [やり取り]」の評価を行う際に、生徒に個別で「中学校生活の魅力を伝えるためのやり取り」の映像を録画、提出させることで、生徒が自身の発話を振り返ることができるとともに、教員は動画を繰り返し再生して分析することで、丁寧に評価を行うことができる。

1 単元名 「ようこそ中学校へ！魅力紹介プロジェクト」

2 単元について（略）

3 生徒の実態と本単元の意図（略）

4 単元の目標

小学校 6 年生が中学校生活を楽しみだと思えるように、中学校生活について事実や考え、体験を踏まえ、魅力を伝えたり、小学生からの質問に答えたりすることができる。

- ・小学校 6 年生に中学校の魅力等について、事実や考え、その理由などを、過去形などを用いて伝え合う技能を身に付けることができる。 〈知識及び技能〉
- ・小学校 6 年生が中学校生活を楽しみだと思えるように、事実や考え、体験を踏まえて、小学生が理解しやすい英語を用いて魅力を伝えたり、小学生からの質問に答えたりしている。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・小学校 6 年生が中学校生活を楽しみだと思えるように、事実や考え、体験を踏まえて、小学生が理解しやすい英語を用いて魅力を伝えたり、小学生からの質問に答えたりしようとしている。 〈学びに向かう力、人間性等〉

5 単元の評価規準

(本単元における「聞くこと」「書くこと」「読むこと」及び「話すこと〔発表〕」については、目標に向けての指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」 (や)	<p>〈知識〉</p> <p>①過去形などの英語表現の特徴やきまりを理解している。</p> <p>〈技能〉</p> <p>②小学校6年生に中学校生活の魅力等について、事実や考え、その理由などを、過去形などを用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>①小学校6年生が中学校生活を楽しみだと思えるように、事実や考え、体験を踏まえて、小学生が理解しやすい英語を用いて魅力を伝えたり、小学生からの質問に答えたりしている。</p>	<p>①小学校6年生が中学校生活を楽しみだと思えるように、事実や考え、体験を踏まえて、小学生が理解しやすい英語を用いて魅力を伝えたり、小学生からの質問に答えたりしようとしている。</p>

6 単元計画

時	◆目標・○活動	評価			
		知・技	思・判・表	態	◎評価規準〈評価方法〉
1	<p>◆単元の目標を理解できる。</p> <p>◆現状自分がどの程度目標を達成できるのかを理解し、今後の活動に向け見通しをもてる。</p> <p>○「小学生が中学校生活をどのように考えているか」のアンケート結果を知ること、単元目標を達成する必然性を理解する。</p> <p>○ペアで6年生に魅力を伝えるためのロールプレイングを行い、単元で学ぶべき内容を考える。</p> <p>○評価基準表(以下「ルーブリック」)を見て、本単元でできるようになることを知る。</p>				
2	<p>◆小学校の既習語彙や表現を振り返りつつ、「中学校生活の魅力伝えるのにふさわしい内容」を考えることができる。</p> <p>○教員とのやり取りや個人の考えの整理、グループでの話し合いなどを通して、「小学校6年生に中学校生活の魅力伝えるのにふさ</p>				

「評価についての考え方」

本単元においては、第1時、第2時、及び第4時は、目標に向けて、記録に残す評価は行わない。ただし、生徒の学習状況を把握し、学習改善や教師の指導改善に生かすことは毎時間行う必要がある。活動させているだけにならないよう十分留意する。

	<p>わしい内容」を考える。</p> <p>○考えを深めた内容を基に、ペアで6年生に魅力を伝えるためのロールプレイングに取り組む。</p> <p>○<u>小学校の教科書に戻り、小学校の既習語彙や表現を個別で確認する。後にもう一度ロールプレイングを行う。</u></p>				
3	<p>◆<u>小学校6年生に中学校生活が楽しみだと思ってもらうために、「中学校生活の魅力紹介動画」を作成することができる。</u></p> <p>○<u>教員とのやり取りやペアワーク等を通して、「中学校生活の魅力についてのやり取り」をするためにふさわしい表現の方法」を考える。</u></p> <p>○<u>ペアによるやり取りの練習や中間指導を通して、6年生に魅力を伝えるためのやり取りがより適切に行えるようにする。</u></p> <p>○<u>一人一台端末を用いて「中学生が小学生6年生に対して中学校生活の魅力を紹介している様子（ロールプレイング）を収めた動画」を録画する。提出されたやり取り映像は、後日小学校へ共有される。</u></p>	<p>ICT活用の利点①</p> <p>動画の提出や共有は、オンライン上で行う。小学校側には、児童に共有された動画を視聴させた上で、「どのようなことが印象に残ったか」や「どのようなことをもっと知りたくなったか」などのコメントをオンライン上に書かせるようにお願いする。</p> <p>ICT活用の利点②</p> <p>評価のため、生徒は、一人一人が中学生の立場で行うやり取りの様子を収めた動画をオンライン上に提出させる。</p>	<p>や</p> <p>①</p> <p>や</p> <p>②</p>		<p>◎過去形などの英語表現の特徴やきまりを理解している。</p> <p>◎小学校6年生に中学校生活の魅力について、事実や考え、その理由などを、<u>過去形</u>などを用いて伝え合う技能を身に付けている。〈やり取り映像の分析〉</p>
4	<p>◆<u>小学生6年生からのコメントを参考にして、内容をさらに深めた「小学生6年生に中学校生活の魅力伝えるためのやり取り」の仕方を学ぶことができる。</u></p> <p>○<u>各自、「自分の紹介動画を見て6年生がどのように感じたか」を確認させ、6年生が興味をもっていることを知ったり、自分の伝える内容を精査したりする。</u></p> <p>○<u>ペアで6年生に魅力を伝えるためのロールプレイングと中間指導を通して、さらに内容を深めつつ、目的や場面に応じた適切なやり取りができるようにする。</u></p>				<p>事例のポイント①</p> <p>生徒は、6年生からのコメントを読み、その内容を踏まえて、第5時に行うやり取りを向上させる。</p>
5	<p>◆<u>小学校6年生に中学校生活が楽しみだと思ってもらえるように、事実や考え、体験を</u></p>				

	踏まえ、簡単な英語でのやり取りを通して魅力を伝え合うことができる。			
本時	○ペアで6年生に魅力を伝えるためのロールプレイングと中間指導を通して、目的や場面に応じた適切なやり取りができるようにする。	事例のポイント① 第4時に確認した6年生からのコメントを参考に、中学生同士で「6年生に対して中学校生活の魅力を伝えるためのやり取り」を行い、その様子を評価する。		
	○ペアで「小学校6年生に扮した友人に中学校生活を伝えるためのやり取り」を行わせる。そのやり取りの様子を、一人一台端末を用いて録画し、オンライン上に提出する。	や ① や ②	や ①	や ①
	ICT活用の利点② 評価のため、生徒は、一人一人が中学生の立場で行ったやり取りの様子を収めた動画をオンライン提出する。			◎小学校6年生が中学校生活を楽しみだと思えるように、事実や考え、体験を踏まえて、小学生が理解しやすい英語を用いて魅力を伝えたり、小学生からの質問に答えたりしようとしている。〈やり取り映像の分析〉
	○振り返りシートを用いて単元の学びを振り返り、次回以降に向けた具体的な学びの改善方法を考える。			

※オンラインミーティング機能を使用した小・中学生同士のやり取りが可能な場合は、本時においてその様子を録画させたものを評価することが考えられる。その場合は第5時までには、児童が動画を見た後に「もっと知りたいこと」を、中学生に英語でどのように質問すればいいのかを、児童に指導してもらうよう伝える必要がある。なお、同一施設内における交流が可能な場合は、小中学生同士で直接のやり取りを実施することも考えられる。

7 本時の展開

目標 小学校6年生が中学校生活を楽しみだと思えるように、中学校生活について事実や考え、体験を踏まえ、魅力を伝えたり、小学生からの質問に答えたりすることができる。

準備 指導者用ICT端末…**指端**、学習者用ICT端末…**学端**、振り返りカード…**振力**

展開 (5/5)

時間	○生徒の活動 ・学習内容	・指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導入 15分	<p>○挨拶をする。</p> <p>○Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習事項を活用し、身近で日常的な話題などについて即興でやり取りを行う。 <p>○本時の目標</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>小学校6年生が中学校生活を楽しみだと思えるように、中学校生活について事実や考え、体験を踏まえ、魅力を伝えたり、小学生からの質問に答えたりすることができる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 全体から個別へ挨拶を展開する。 本時の流れを提示する。 教師と生徒全体とのやり取りを通して既習事項を想起させ、後にペア同士による即興でのやり取りを行わせる。 	
導入 25分	<p>○ペアで伝え合う活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時で知り得た「<u>6年生が中学校生活について気になっていること</u>」を基に、<u>中学生と小学校6年生に扮した友人とのやり取りを行う。</u> <p>○やり取りの内容の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 指名された特定のペアが行うやり取りから、「参考になることや改善をすべきこと」について検討する。 <p>○個別の準備時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別に改善策を練ることを通して自分自身が伝える内容を修正し、次回のやり取りを改善する。 <p>○やり取りの録画を提出</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアを変え、「小学校6年生に扮した友人に中学校生活の魅力を伝えるためのやり取り」を行い、その様子を録画する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>実践のポイント① 第4時に確認した6年生からのコメントを参考に、中学生同士で「6年生に対して中学校生活の魅力を伝えるためのやり取り」を行う。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ①中学校生活が楽しみだと思える内容か、②事実や自分の考えを整理して述べているか、③やり取りで小学生の思いに応えられているかなどに着目させる。 ループリックを確認することを助言する。 評価を行う観点から、全員が「中学生の立場」でやり取りを行っている様子を録画させ、提出させる。 なお、評価は後日に行う。 	<p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">学端</p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">指端 学端</p>

	・オンライン上に、その録画した動画を提出する。	ICT活用の利点② 動画の提出はオンライン上で行う。生徒全員は、自身が中学生としてやり取りを行っている動画を提出する。	
まとめ 10分	○単元の振り返り ・①単元を通してできるようになったこと、②単元を通して課題であると感じたこと、③次回以降の学習で改善すべき具体的な方策について考え、振り返りカードに記述する。 ○次回の連絡を聞き、挨拶をする。	・生徒により具体的な振り返りを行わせるために、各自に自分自身のやり取りの様子を視聴させることを助言する。	振力 学端

8 単元の指導の実際について

(1)本単元におけるルーブリックについて

第1時に生徒と単元目標を共有し、事前に次のような評価基準表（ルーブリック）を提示することで、生徒の単元学習に対する意欲を高めたり、学習に対する見通しをもたせたりすることをねらう。また、単元指導を進めるに当たり、生徒にルーブリックを確認させることで、自分の学習状況や課題を自覚させ、自分の学びを調整させることができる。第5時に生徒が撮影して提出した動画を、教員がルーブリックと単元の評価規準に基づいて分析・評価する。

生徒に提示するルーブリックの例としては、以下のようなものが考えられる。なお、ルーブリック上の表記があいまいな部分については、第1時や指導の過程において生徒全体で考えながら明らかにする場を設け、共有することとする。

<生徒に示すルーブリックの例>

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	既習事項をおおむね正確に活用しながら、やり取りを継続することができている。	小学生に中学校生活の楽しさが伝わるために、自分の体験や考えを小学生に分かりやすく整理しながら伝えている。また、小学生の考えを引き出している。	小学生に中学校生活の楽しさが伝わるために、自分の体験や考えを小学生に分かりやすく整理しながら伝えようとしている。また、小学生の考えを引き出そうとしている。
b	コミュニケーションに支障のない程度の間違ひはあるものの、既習事項を活用しながら、やり取りを継続することができている。	小学生に中学校生活の楽しさが伝わるために、自分の体験や考えを伝えている。また、小学生の考えを引き出している。	小学生に中学校生活の楽しさが伝わるために、自分の体験や考えを伝えようとしている。また、小学生の考えを引き出そうとしている。

c	b を満たしていない。	b を満たしていない。	b を満たしていない。
---	-------------	-------------	-------------

※「思考・判断・表現」においては、以下の2点を満たすことができれば「b 評価」を得ることとする。

条件1：中学校生活での具体的な体験（部活、学校行事、学校給食など）を、自分の言葉でやり取りの中で伝えている。

条件2：質問を投げかけたり、相手の意見を聞いたりしながら、小学生の考えや反応を引き出す工夫をしている。

なお、「a 評価」を達成するためには、生徒は次のような工夫が必要である。

まず、自分の体験や考えを話す際には、具体的なエピソードを交え、話の順序や構成を整理する（導入・本題 [本題]・結論 [まとめ] の流れを意識する等）ことが重要である。また、小学生にも理解できる簡単で明確な英語表現を用いることが求められる。次に、小学生の反応を引き出すためには、答えやすい質問を投げかけるとともに、相手の答えに対して共感や反応を返す工夫が必要である。さらに、小学生が考えやすい身近で日常的な話題や、質問に答えやすくなるよう選択肢を用意することで、会話のやり取りが円滑に行えるようにすることも求められる。

※「知識・技能」については、本単元で扱う主な内容である過去形の表現を中心に評価することとする（上記の条件1を満たす際に過去形の使用が必然であるため）。条件1と2を満たすためには様々な既習表現の使用が想定されるが、既習表現を用いてコミュニケーションに支障のない程度の英文でやり取りを継続できていれば、「a 評価」を得るものとする。

(2)第5時まで目指すべきやり取りの姿の例について

本単元を終えるまでに、生徒は小学校6年生に対して中学校生活が楽しみだと思ってもらえるよう、事実や自分の考え・体験を交え、簡単な英語でのやり取りを通してその魅力を伝えられるようになることを目標とする。

その指導に当たっては、例えば生徒が以下のようなやり取りを行えるようになることを目指して指導することが考えられる。なお、やり取りの流れは、①挨拶、②Small Talk、③本題、④質疑応答、⑤挨拶、という順に迫れるよう指導を継続する。

J...中学生 E...小学生

J : Hi, I'm ○○. Nice to meet you.

E : I'm △△. Nice to meet you, too.

J : How are you?"

E : I'm hungry now.

J : Really? What do you want to eat?

E : I want to eat "karaage." How about you?

J : I want to eat curry and rice. I want to eat spicy food.

Hey, I'd like to talk about school life in our junior high school.

E : OK.

J : You can enjoy your junior high school life. First, you can join club activities. Do you like sports?

E : Yes. I like soccer.

J : Oh, so you can join our soccer team. I really enjoyed playing soccer with my teammates!
Let's enjoy it together!

E : Uh, I'm not good at playing soccer.

J : Don't worry. That's OK. Second, you can eat delicious school lunch.

E : Really?

J : Do you like school lunch?

E : Yes, I do.

J : That's great. For example, we ate big fried bread, in Japanese "agepan" last week. It was so delicious!

E : Wow!

J : How about you? What school lunch do you like?

E : Uhm, I like curry and rice!

J : Me, too!! I ate a lot of good school lunch, and I was happy every day. So, you can also enjoy your junior high school life! Do you have any questions?

E : Uh, I'm not good at studying. Are junior high school lessons hard?

J : Yes, but our teachers are very kind, so you can study well. Don't worry.

E : OK. And, are my schoolmates kind?

J : Of course. For example, they help you up during the club activities. They are very kind to us.

E : I see. I want to enjoy my junior high school life!

J : Yeah, let's enjoy it together!

E : Yes! Thank you,○○!

J : Thank you, too △△! See you soon!